

# いのちの危機！

## 社会保障と税の一体改革

### —その狙いと行き着くところ—

#### 松戸高齢者運動学習会

とき 10月30日(日) 午後2時から

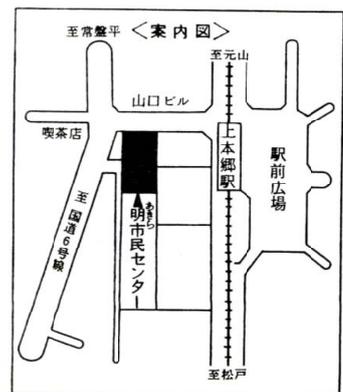
(開場 午後1時30分)

ところ 明(あきら)市民センター第1会議室

講師 篠崎 次男 さん

(日本高齢者運動連絡会 顧問)

(参加協力費 300円)



※新京成線上本郷駅徒歩1分

- 今の政府がやろうとしているのは、社会保障の全分野で給付を削減し、国民に負担増を押しつける。そして、期限を切って消費税の大増税をすすめるという「やらずぶったくり」の「改革」というべきではないでしょうか。
- 法人税の実効税率は引き下げ、消費税は増税する。将来は社会保障の公費全体を消費税を主な財源にする。貧困と格差拡大の「改革」ですね。
- 国民1人ひとりに個人番号を付けて、税金の徴収だけでなく、国民健康保険をはじめ社会保障の全分野で利用するようにしようとしています。これは、全国民を管理しやすくし、給付を削減し、個人負担は抜かりなく取り立てる、そういうシステムの導入ではありませんか。
- 重大事態です。どうすべきか、みんなで学び考えましょう。

主催：豊かな高齢期をつくる松戸市連絡会

連絡先：森川(047-386-0510)

または、樋口(090-2222-2769)

